

3-1 進路選択の諸条件

進路の計画

1. 題材設定の理由

いよいよ進路決定の年である。今まではほとんどの生徒が同じような道を歩めばよかったのが、卒業後は一人一人違った道を進まなくては行けない。「進路の選択をしなければならなくなった。」3年生の生徒の誰もがそんな自覚をもっているに違いない。そして、学習に部活動に頑張らなければならないと思っている。

しかし生徒たちの中には、目先のことにとらわれている者、将来について漠然とした意識であったりする者、また周囲の言葉に流されている者もいる。

そこで、先輩の進路選択の具体的な事例を通して、改めて進路選択の難しさを理解させ、進路選択のための諸条件を明確にし、これからの進路選択および決定の日まで何をしなければならないのかをしっかりとつかませて、自分の進路希望、進路設計を見つめ直させたい。

2. 指導のねらい

進路選択のための必要な条件を具体的に理解させ、自分自身の進路設計を見直し、改善点や努力点を明らかにすることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・ 現段階での進路希望を考えさせておく。 ・ 進路希望調査の実施。
本時	・ 進路選択のために必要な条件を具体的に理解することができ、自分にとって必要なことを再認識する。
事後	・ 記入が不十分な生徒には、個別相談を実施する。

<説話例>

N君は、本来普通科高校希望でした。でも、友達が高専を受けるということで自分も受けてみました。元来美術が得意で、建築にも興味があったこともその理由でした。先生からは厳しいだろうと言われていましたが、見事に合格しました。先生は「本当に高専へ行くのか、普通科希望じゃなかったのか。」と心配しましたが、N君は合格のうれしさで行くことに決めました。入学して学校生活（勉強）が始まりました。高専は高校とは違って

4・5年生がいてとても自由な雰囲気だったので、最初はとても楽しかったのですが、次第に勉強は難しくなり、単位も落とし、ついには留年をしてしまいました。もうあとはありません。でも、N君にはもはややりきだけの気力は残っていませんでした。結局退学し、現在は大検をめざして勉強しています。彼にとって、高専に合格したことはよかったのでしょうか。N君は、高専の中身を十分に調べることなく受験したことに問題があったのです。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・ 同年代の仲間の進路希望の実態を知ることができる。	◎進路希望調査の結果を見て、気づいたことを発表する。 資料①から ・ 就職者が少なくなってきた。 ・ 進学する人が多くなっている。 ・ 専門学校へ行く人もいる。 資料②から ・ 進学希望者が多い。 ・ 普通科希望の人が多い。	・ 過去3年間の進路先のデータまたは、昨年の進路状況から、先輩たちの動向を考えさせる。 ・ 現段階の自分たちの学級の仲間の進路希望から、自分たちの動向を考えさせる。	・ 資料①「先輩たちの進路状況を準備する」 ・ 資料②「進路希望調査のまとめ」を準備する
課題：進路を選択するために必要な条件を考え、自分自身の今後の努力点、改善点をまとめよう。				
中心の活動	・ M男くんの手紙を読んで、どうすべきだったか理解し、進路選択の条件を考えることができる。	◎今、自分がどんな条件で進路先を決めようとしているのかを交流する。 ・ 自分の学力（テストの点数）・ 通学時間 ・ 通学距離 ・ 自分の興味・関心 ・ 高校卒業後の進路（大学進学など） ◎M男くんはどんなことで悩んでいるのかを交流する。 ・ 今通っている学校をやめるべきか続けるべきか。 ・ 自分が予想していた学習内容と、実際に学習する内容に大きな違いがあること。 ・ 工業高校の学習内容や生活がM男くんの思っていたこととあまりにかけはなれていて、自分の進路選択に対する甘さを知ったこと。 ・ 工業高校が自分に合わないのではないかということ。 ◎現在の高校退学者数やその理由を示し、M男くんのような進路選択で行きづまってしまう生徒が多いことを知る。 ◎M男くんは進路を選択する時、どうすべきだったかを考え、P.42①に記入する。 ・ 進路先の高校のことを調べるべきだった。 ・ 学習する内容をもっと調べるべきだった。 ・ 自分の性格や適性をもっと知るべきだった。 ・ 仕事の環境をもっと調べるべきだった。 ◎進路選択の条件は、何が大切なのかをP.43②に記入し交流する。 ・ 自己理解（適性・能力・興味・関心） ・ 目的との合致 ・ 進路情報（進路先の情報） ・ 進路計画に合っているか。	・ 資料編P.92を見せ、今の現状を確認させる。 ・ M男くんがどうすべきだったかを参考にまとめさせる。 ・ 不足の場合は教師が4つの条件でまとめ、説明する。	・ P.42資料「M男くんの手紙」 資料編P.92 ・ P.42① ・ P.43②
まとめの活動	・ 自分の進路設計に対する考え方を見直すことができる。	◎M男くんの体験を参考にP.43③を用いて、5つの観点で自分の進路設計を見直し、頑張っていることや今後努力することをまとめる。 1. 進路先の内容を十分に理解していない。 2. なぜ、高校へ行きたいのかははっきりしていない。 3. 自分の適性を十分に理解していない。 4. 親に自分の希望を伝えていない。 5. 情報を集めて、進路設計を立て直したい。 ◎仲間の発表を聞いて、これからの決意をP.43④に記入しはっきりさせる。	・ 数名の生徒に発表させる。 ・ 進路を選択していく上で、先の4つの条件と相談活動が大切なことを再度確認し、その重要さを示す説話を最後のまとめとして話したい。	・ P.43③ ・ P.43④